

品質保証



Green Point Parts

グリーンポイントパーツは、
CO2削減効果も数値で見え、
品質保証もある
自動車リサイクル部品の新しい基準です。

株式会社 エス・エス・ジー

シーライオンズクラブ

株式会社 システムオートパーツ

自動車補修部品研究会

テクルスネットワーク

株式会社 ビッグウェーブ

一般社団法人 部友会

リビルド工業会全国連合会

一般社団法人 ARN

チームJAPRA

一般社団法人 JARAグループ

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合

一般社団法人 SPN



一般社団法人 日本自動車リサイクル部品協議会

〒105-0004 東京都港区新橋5-7-12 ACN新橋ビル7F

TEL.03-5472-4182(代) FAX.03-5472-4183

<http://www.japra.gr.jp><http://www.gpc.ne.jp>

2026年 夏季特集 自動車リサイクル部品

課題山積のリサイクル業界

使用済み車確保難、人手不足



使用済み車からリサイクル部品を取り出す

「物価高」「環境意識」で注目高まるが



使用済み車確保が課題

自治体の立ち入り検査の促進、使用済み車から取り出したリチウムイオン電池の適切な処理体制の整備、なども求めている。事業環境の改善も進む。JARCは1月、解体・破碎事業者などが利用している「自動車リサイクルシステム」を大幅刷新した。運用開始から20年近くが経過し、老朽化や部分改修を重ねたことにより複雑な構造になっていた。

システムは、使用済み車やフロン類・自動車シユレッターダスト(ASR)の引き取り・引き渡し状況を登録するものだ。これまで登録工程ごとに複数必要だったIDを統一した。車両の詳細な情報が刻印されたコーションプレートをスマートフォンで撮影すれば、車台番号を登録できるようになるなど、利便性も高めた。各流通団体もJARCのシステム刷新に合わせた改良を行っており、事務効率化が期待される。

団体・企業の垣根越えて

物価上昇や環境意識の高まりから注目が集まっている自動車リサイクル部品。業界では、高まる需要に応えようと、適切な処理体制の整備や業務効率化、団体の垣根を越えた協力など、さまざまな取り組みが進んでいる。

合同勉強会も
リサイクル業界には、複数の流通団体がある。近年は、適切な競争関係を維持しながらも、業界共通の課題に対処する取り組みが始まっている。2025年2月に始まったのが、日本自動車リサイクル部品協議会(川島準一(会長)の加盟12団体や、傘下企業が使用している5つのシステムが連携し、在庫共有して相互流通する「オールリサイクルパーツネットワーク(ARP)」だった。全国を一つのネットワークで接続すること、約500万点の部品

また、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(小林信大(理事長))は、リサイクル部品を自動車修理に使用した場合の二酸化炭素(CO₂)排出削減効果を算定する手法を確立している。こうした活動も、リサイクル部

競争関係維持しながら一丸

品の評価を高めている。ただ、業界を取り巻く環境は厳しい。最大の課題は、部品取り用の使用済み自動車の確保だ。自動車リサイクル促進センター(JARC、梅田靖理事長)がまとめた25年度の使用済み車は、前年度比3.2%減の247万8千台にとどまり、7年連続で減少した。10年代後半は年300万台を超す水準で推移してきたが、18年度の337万8千台をピークに減少を続けている。

人手不足も深刻だ。リサイクル業界は27年に始まる外国人の育成就労制度について、自動車リサイクルを対象業種とするよう政府に求めている。

また、交渉は難航している。こうした状況下、政府への発言力や、業界の存在感を高めようと、日本自動車リサイクル部品協議会と、日本自動車リサイクル機構(JAERA、石井浩道(代表理事))は、統合を決めた。同協議会は主にリサイ

クル部品を手掛ける事業者が、JAERAは主に解体事業者が加入している。ただ、リサイクル業界では、車両の解体から部品取り、中古部品の製造まで一貫して行っている事業者が多い。両団体が統合することで、リサイクル業界全体の意見を集約しやすくなる。

効率は着々
政府も、産業基盤の整備を進める。経済産業省と環境省は8月、自動車リサイクル制度の現状と課題をまとめた報告書を出した。25年に自動車リサイクル促進法施行20年を迎えたのを機に、有識者検討会において、関係

れている車両があることだ。本来、リサイクル部品取り用として活用されるべき自動車が、不適切な形で輸出されていることになる。ガイドラインにおいて、中古車オークション(AA)に車両を出品する際の目安を盛り込むことも検討する。

報告書は、フロンやエアバッグを適切に回収しない事業者への

NGPの
リユースパーツ

驚異の
0.6%
クレーム率※

年間販売数※
140万点

全品保証付き

安い! 安心!

リユースパーツのご注文は
高品質部品の NGP 組合員まで

最寄りの NGP 組合員はこちら

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 / 株式会社 NGP

〒108-0075 東京都港区港南 2-12-32 サウスポート品川 4F TEL:03-6705-1208 <https://www.ngp.gr.jp/>

※2024年9月～2025年8月までの年間実績

来年度の新システム導入へ準備着々

独自のスクール補助金制度

補助金制度

各種研修会の実施で人材育成に注力

中、会場の会議室で、システム会員を集め勉強会を開催。そのほか損害保険会社の研修所を使用している。

勉強会や交流会通じ手厚く会員支援

との付き合いは避けられないのではないか。そう、可能性の向上に貢献していく。



今、時代はリサイクルパーツへ。

株式会社 システムオートパーツ

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2丁目9番27号 プライムスクエア広瀬通7F
TEL:(022)266-0736(代) FAX:(022)216-3025
HP:<http://www.sap-net.co.jp>

Recycle&Repair
BIG WAVE

株式会社ビッグウェーブ

〒497-0005 愛知県あま市七宝町伊福鍛冶屋58

TEL:052-441-7502 <https://www.bigwave-net.co.jp>

廃エンジンオイルを再利用

いちご栽培 ビニールハウスの暖房に



ビニールハウスを温めるボイラー



県内初の吊り下げ式リフティングベンチ



鴨下商店

再生工場、再生重油にリサイクルして、ビニールハウスのボイラーで使用。自動車リサイクルにおいて、すべてを無駄にせず、有効利用した。こうした取り組みが取引先からも注目を浴びている。

初年度は、紅ほっぺ2160株、やよいひめ1440株の約3500株を栽培して、約11の「いちご」を収穫。収穫された「いちご」は、すべて取引先に無料で配った。

トピックス

トピックス

今年6月には、従来のホームページとは別にファンサイト「JTPを知ろう」を開設した。リファインパーツと中古パーツは何か違うのかを分かりやすく解説しており、JTPが力を入れている環境保全活動も紹介している。トラックに特化した中古部品・使用済



NGPが取り組む豊島の環境保全活動にも協力している

また、NGPが長年取り組んでいる豊島(香川県土庄町)の環境保全活動にも協力している。豊島では過去に自動車シュレッダーダストなどの産業廃棄物が大量に不法投棄され、土壌汚染などが発生した。JTPは団体幹部や環境委員会のメンバーなどがこれまで複数回にわたって豊島を訪れ、NGPの関係者とともにさまざまな環境保全活動に取り組んできた。今後も活動を継続し、豊島の環境再生に貢献していく。

リファインパーツ普及へ広くPR

の環境効果をテーマとした産学共同研究に取り組んでいる。大型車の整備でリサイクル部品を使用した場合、新品と比べて二酸化炭素(CO₂)の排出量をどの程度削減できたかを数値で示すことに力を入れている。

この国の物流をリファインする。

SDGsや物流DX、EV車、AIが社会に浸透していくと共に物流への期待は高まり、課題と責任も大きくなっています。

私たちはトラックに特化したリファインパーツで、日本の物流を支えてきました。その存在は唯一無二。

トラックの「分解」と洗浄、加工と保管。

磨き上げられたリファインパーツは、解体による中古パーツとは一線を画す品質と安心を提供します。

これまでの実績と信頼、今後のビジョンのもと

JTP加盟店はワンチームとなり

リファインパーツの価値を高め、情報を発信。

持続可能な社会へ向けて、日本の物流をリファインしていきます。

JTPを知ろう！
「不安」から「FAN」へ

トラックパーツの疑問や不安を、
学びと体験で信頼に変えませんか？



JTP公式AI You Tuber
都楽Rin

日本トラックリファインパーツ協会は、
トラックに特化した
唯一のリサイクル団体として、
業界のパイオニアを目指しています。



一般社団法人日本トラックリファインパーツ協会
株式会社ジェイ・ティ・ピー



HP



らくだネット



ブランドページ



ファンサイト